

長期的にめざす姿(長期ビジョン)

人口減少・超高齢化の進展に加え、脱炭素・循環型社会への移行や加速するデジタルシフトへの対応等、地域のサステナビリティ(持続可能性)に関わる課題が多様化・複雑化し、地域金融機関を取り巻く環境も急速に変化しています。このような環境変化の中で、私たち百十四グループが地域とともに持続的に成長するためには、長期的な視点で地域のサステナビリティに関する課題に積極的に取り組むことで、経営の持続可能性を高めていく必要があります。

こうした認識のもと、2023年3月、百十四グループは、サステナビリティに関する課題のうち優先的に取り組むべき重要課題を「百十四グループマテリアリティ」として特定するとともに、マテリアリティ(重要課題)に取り組む先に見える長期的にめざす方向性として「長期ビジョン2030」を定めました。

この長期ビジョンからバックキャストした中期経営計画「創ろうイ・イ・ヨ♪」の各戦略の実行を通じて、ウェルビーイングな地域社会の創造と百十四グループ経営のサステナビリティ向上をめざしてまいります。

